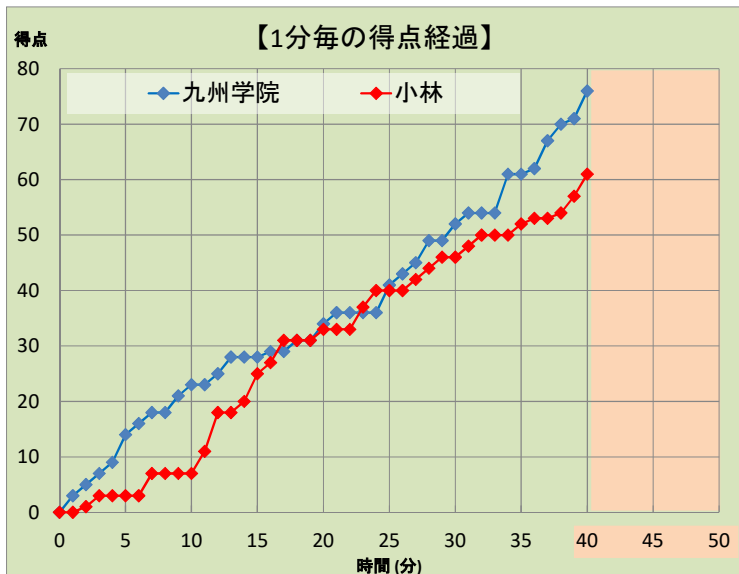


## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Aコート	第3試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	宇地原 尚彦	
第1副審	山口 勝真	
第2副審	山崎 誠二	

TEAM A			TEAM B		
九州学院	76		61	小林	
熊本1位				宮崎2位	
○				●	

### 【BOXスコア】

TEAM A		九州学院高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	跡部 晃基	◎	12	1	2	5	1
5	大内 一慶	○	15	1	5	2	2
6	露木 真弥		0				
7	西村 仁		0				
8	堤 玲太	○	5		2	1	3
9	福田 大斗		0				
10	野美山 翔馬		3		1	1	2
11	窪田 俊祐		0				
12	中野 友都	○	29	2	9	5	3
13	大城 瑞樹		0				1
14	井上 雅士	○	12	4			3
15	古川 侃		0				
コーチ	田中 洋平						
合計		76	8	19	14	15	

TEAM B		小林高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	高瀬 智生	◎	6		1	4	2
5	眞方 翔悟	○	8		4		3
6	中尾 祐太		9	1	2	2	2
7	高橋 勇斗	○	16	1	4	5	4
8	後藤 統哉		2		1		
9	松崎 一樹		0				
10	佐藤 航大		0				
11	森田 祥也	○	0				1
12	渡邊 颯汰		0				
13	鈴木 峻太		0				
14	大森 尊之	○	18	1	5	5	3
15	内倉 裕都		0				
16	河端 駿		0				
17	植野 翔太		2		1		2
18	松田 要		0				
コーチ	石川 祐二						
合計		61	3	18	16	17	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、熊本県1位九州学院対宮崎県2位小林との対戦、九州学院のスターティングメンバーは、#4、#5、#8、#12、#14、小林のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#11、#14で試合開始。第1Q九州学院はオールコートマンツーマン、小林は2-2-1のゾーンプレスからスタート。お互いにアウトサイドがなかなか決まらず試合は膠着状態が続く。開始から3分、九州学院の#4、#12の3Pが決まり始め、徐々に点数が開き始める。開始5分で16-13、小林タイムアウト。小林は#4がゲームをコントロールしようとするが、九州学院のインサイド#8がゴール下のショットをねじ込み、またアウトサイドもインサイドからのリズムの良いパスをスコアし、第1Qは九州学院が優位に立ち、23-7で終了。第2Q小林はファイト溢れるディフェンスからブレイクを立て続けに決め、九州学院はたまたまずタイムアウト。タイムアウト後は一進一退の攻防が続いたが、小林のシュートが決まり始め、試合の流れを引き寄せる。小林は残り3分30秒で同点に迫いつき、残り3分で#4のレイアップシュートで逆転。第2Qの小林の勢いは止まらなかった。34-33で九州学院1点リードで前半終了、お互い上背はないものの、トランジションの速い攻めで、観客を魅了した。第3Q開始、最初に主導権を握ったのは九州学院、オフェンスリバウンドを連続して獲得。逆に小林はルーズボールを粘り強く獲得し、シーソーゲームが続く。第3Qは両チームともそれぞれの持ち味を出し、拮抗した時間帯が続き、52-46で九州学院リード。第4Qは、九州学院がピックアンドスクリーンを起点にインサイドでの得点を重ねていくのに対し、小林はピックからのスリップをタイミング良く使い、ドライブを織り交ぜながら攻撃を仕掛けていた。一進一退の状態が続いたが、九州学院の流れるようなバックカット、パスランからのドライブで点数を重ねていき、残り6分で61-50で優位に立つ。さらに九州学院はディフェンスでも1-2-2のプレスを仕掛け突き放しにかかるが、小林もマッチアップゾーンで起死回生を図るが、一歩及ばず。最終スコアは76-61。お互いに最後まで脚力を生かしたスピード感溢れるゲーム展開で素晴らしい試合となった。

**【戦評記者】** 貞包 謙  
福岡県バスケットボール協会